

【学校統合】

学校統合も選択肢

一つの中学校、一つの小学校、一つの小・中学校など、統合の規模と時期。

こころのアンケート大切

人間関係が心配。ストレスチェックが大事。

【小中一貫校】

小中一貫校も選択肢

全ての小中学校で一つ、幼小中で一つ。義務教育学校か、小中連携か。

【統合しない・小規模の良さを活かす】

小規模特認校も選択肢

小さな地域を生かした（地域特性）教育。子どもが環境に馴染めないで、今はできる限り避けて欲しい。

【まちづくり・防災・財政】

人口流出、防災、財政

学校がなくなった区の人口流出、避難施設などの跡地利用、子どもの学習環境と財政。

【学校統合 場所】

統合後の学校の場所は

どこの地域になるのか。

【学校統合 通学】

通学方法が変わる

校区が広がると、通学方法も変わる。徒歩、自転車、バス通学。

バス通学の運行時間、運行ルート、運行時刻

時間的な制約がある。部活動と下校時刻。運行ルートや経費。

バス通学で体力低下

特に低学年の長時間のバス移動は大丈夫か。基礎体力の低下が心配。

バス通学による負担増

子どもは体力的な、保護者は金銭的な負担が増える。

【学校統合 ふるさと教育】

学校統合で郷土愛を育む

多可町を愛する思いが強まる。

【学校統合について】

中26. もし一つになるなら、場所はどこの地域になるのか。

八93. 統合したときの学校はどこの地域に。

【回答】

候補地の条件としては、通学の基本方針に基づくこと、また新たに土地を取得しないことを基本条件と考えています。

中01. .もし学校統合となった場合、どういった選択肢があるのを知りたい。

望ましい教育環境の中で、重視する環境によって選択肢は異なります。

加66. 中学校が合併となるとどこの学校を使うのか？新しい校舎なのか？

場所を選定する際に、既存施設の活用か、新設か、コスト等も含めてご提案したいと考えています。

八91. 全ての子どもが集える場、校舎はあるのか。

小・中学校合わせた児童生徒が集える校舎は現状ありません。

八92. 統合したときの通学方法は。

中29. 統合を考えた時、通学に対する手段は。

基本方針に基づいた運用。小学校4キロ以上、中学校6キロ以上はバス通学となります。

中28. 1町で中学校を一つに統合すれば、遠方の生徒はバスによる通学時間が長くなるのでは。(1時間近く)

望ましい教育環境の議論の進捗に合わせて、通学時間のシミュレーションを行い提示します。

加53. 廃校となった学校の維持の方法。災害時や活用方法をしっかり考えて欲しい。

町長部局による検討事項。実績としては企業誘致、NPOによるグランドゴルフ場経営です。

【小中一貫校について】

中04. 小中一貫校のメリット・デメリットを教えてください。

【回答】

メリットとして、小学校から中学校への接続がスムーズになることが大きく、中1ギャップ・不登校の減少に繋がると考えています。デメリットとしては、小学校と中学校の節目がなくなり、気持ちの切替や進学する充実感がなくなる可能性があります。

八111. 小中一貫校になったら教員の数は増えるのか。

教員の配置数の考え方は、小中一貫校でも小学校と中学校別々でも配置される教員の総数は同じです。

八112. 小中一貫校は可能か。

多可町でも小中一貫校は可能です。仮に区で統合し小中一貫校にした場合、中学校の生徒数は増えないので、「部活動の選択肢がない」や「クラス替えができない」などの課題は残ります。

【このまま】

中27. 多可町の基準になった時、今の学校の配置でもやれる方法はあるのでは。

【回答】

小規模特認等として存続している学校もあります。地域との連携が存続のポイントです。

加44. 小さな地域(=少ない生徒数)を逆に取った、それを生かした教育ができないか。

小規模特認校として、校区外からの児童生徒を受け入れ、特色のある学校運営を行っている学校もあります。

中30. 統合すると地域に学校がなくなるが、他の方法はないのか。

小規模特認校として町内校区外の児童生徒を受け入れたり、山村留学制度を取り入れ、地元の児童生徒だけでなく、地域と連携して子どもたちを受け入れて児童生徒を確保し存続している小規模学校もあります。

【モデル】

加64. 越智谷小学校など過疎地はどうされているのか。

【回答】

越智谷小学校は、令和2年3月に閉校し神崎小学校と統合されました。平成17年に越智谷第一、第二小学校が統合し、小規模特認校として山村留学制度を活用されましたが、地域の高齢化も進み、連携や児童のホームステイ受け入れが難しくなり統合となりました。

加63. 麴町中学校等のうまくいっている学校を参考にし、先生の負担が少なくなるように。

中間期末テストをなくし、小テストや実力テスト重視の評価方法。教員の負担軽減が児童生徒に還元されているのか検証する必要がある。

八118. モデルを提示して欲しい。

まずは子どもたちをどう育てたいのか、どんな大人になって欲しいのかを考えた上で、学校のあるべき姿、求めるものを考えていただきたい。その上で、モデルをお示ししていきたいと考えております。

八119. 10年先、20年先の多可町の小中学校はどうなっているのか。

少子化、核家族化、高齢化、またICT、コロナ対策、大きく世の中が変わる中での判断となりますが、現在見えている課題を解決し、最終的な多可町立小・中学校の形をイメージしていただき、中長期的な方針が示された意見書をお願いしたいと考えております。